



旧長谷川治郎兵衛家の殿町側庭園で野点

今年も暑い夏がやってきました。少しでも涼しんでいただこうと、旧長谷川治郎兵衛家の離れの前に野点用茶席を設置しました。ゆっくりと抹茶を楽しんでいただくのはいかがでしょうか。

この庭園は、明治期に造られ、昔はお城を眺めることができたと言われています。残念ながら現在は、長谷川家の庭園からお城を見ることはできませんが、それでも、和風の良い雰囲気味わえる簡素な風情をもっています。撮影スポットとして利用していただければ、素敵な思い出に残る写真を撮ることができますね。



今回の展示のみどころ!

旧長谷川治郎兵衛家 豪商長谷川家の分家 武右衛門家と六郎次家

7月4日(火)~10月8日(日)

長谷川治郎兵衛家には、武右衛門家(南家)と六郎次家(西家)という2つの分家がありました。両家の初代当主は、ともに本家創業の祖 政幸の子どもであり、武右衛門家は亀屋、六郎次家は戎屋という屋号で江戸の大伝馬町に店を構えました。また、分家の歴代当主は、本家と同様に松阪に居住し、文芸活動を熱心に行いました。本企画展では、古文書や道具類を通して長谷川家の分家をご紹介します。



【乗願居士肖像】
近代に活躍した絵師 川端玉章が描いた武右衛門家(南家)6代定静(乗願居士)の肖像画

【学芸員による展示解説】
8/5(土)、10/7(土)の午前11時より20分程度

旧小津清左衛門家 小津清左衛門家370年のあゆみ

7月25日(火)~10月29日(日)

今年は、承応2年(1653)に小津清左衛門家が江戸の大伝馬町で小津屋紙店を創業して、370年を迎えます。これを記念して、本企画展では小津家に残された帳簿や店の暖簾といった商業資料や、当主の趣味教養をうかがうことができる文芸資料などを展示します。小津家が歩んだ370年の歴史を知っていただく機会となれば幸いです。



【小津屋家印入暖簾】
ウロコキュウ「鱗久」と呼ばれる小津家の家印が入った暖簾

【学芸員による展示解説】
8/12(土)、10/14(土)の午前11時より20分程度

原田二郎旧宅 原田二郎母の生家 田中彦左衛門家

8月15日(火)~12月17日(日)

原田二郎の母ぢうは、飯高町波瀬の田中彦左衛門家の出身です。田中家は、江戸時代には和歌山街道波瀬宿の脇本陣を勤め、近代以降は林業を家業としました。現在、同家の住宅は国の登録有形文化財に登録され、「田中家資料館」として開館しています。本企画展では、同資料館から資料を借用し、原田家ゆかりの田中彦左衛門家をご紹介します。



【田中家住宅主屋】
切妻造棧瓦葺の二階建てで、一階に格子、二階に虫籠窓と出格子を並べる。

【学芸員による展示解説】
9/2(土)、10/28(土)の午前11時より15分程度

イベントのご案内

お申込みは 裏ページ記載のNPO法人松阪歴史文化舎事務所へ

お知らせ

旧長谷川治郎兵衛家 写真展示会 無料

7月22日(土) ~ 7月30日(日)

6月25日(日)に行われたイベント「レンズを通して長谷川家の魅力を発見しよう!」で小中学生が撮影した写真を展示します!



◆ 場所：豪商のまち松阪 観光交流センター2F (松阪市魚町1658-3)

お知らせ

第2回 ちびっ子商人塾! めざせ! 商いの達人



松阪出身の江戸時代の大商人三井高利の生き方や商売の工夫を知って、商いの楽しさや学びのおもしろさを考えるちびっ子の塾です。小学校4年生以上の方が対象です。

- 7/24(月) 町めぐり「三井高利」<町歩きもするよ!>
10:00~15:00
講師 旧長谷川治郎兵衛家3館 館長 松本 吉弘氏
- 8/5(土) 松阪?三井家?...<千両箱持てるかな>
10:00~11:30
講師 松阪三井家 当主 三井 高輝氏
- 8/21(月) 松阪と江戸を結ぶ伊勢商人
10:00~11:30 ~商人って何?大福帳って?実際に手にしてみよう!~
講師 長谷川家南家末裔・学芸員 長谷川 隆氏

会場 豪商のまち松阪 観光交流センター
定員 50名(先着順です お申込みは右QRコードで)



お知らせ

藍のたたき染め体験 はせがわ

7月30日(日)

真夏が旬の藍の生葉を「たたき染」して、自分だけのオリジナルミニトートバッグ作ってみませんか。

- ◆ 第1部 10:00~ 第2部 10:30~ (所要時間:約1時間30分)
- ◆ 定員:各 10名(計20名)
- ◆ 参加費:500円(18歳以下250円) (トートバッグ1枚付)
- ◆ お申込:QRコード (電話またはメールでも受付可)



お知らせ

長谷川家でマジックショー はせがわ

9月16日(土) 13:30~14:30

三重県出身のプロマジシャン Diamond Takuさんをお招きします!旧家でマジックショーをお楽しみください!

- ◆ 参加費:1000円
- ◆ 定員:50名(先着順)
- ◆ お申込:QRコード(電話またはメールでも受付可)



ニュース

蓄音機・SPレコードの講座が行われました!

6月4日、「旧家で聴く蓄音機の音色~長谷川家のSPレコード~」が長谷川家で行われました。参加者の方々は、蓄音機から流れる味わい深い音色に耳を傾けていました。また、講師の長谷川先生(皇學館大学)による蓄音機やSPレコードの解説も大好評でした。



ニュース

開館5周年記念事業「落語三昧」を行いました!

4月16日、松阪市殿町出身の落語家「笑福亭生喬」氏をお迎えし、「犬の目」と「左甚五郎」のお話をいただきました。目の前で本物の落語を聞いて、話しの世界を堪能していただきました。毎年、あればいいなと声をかけてくださる人もみえ、とても楽しい時間を過ごせました。



江戸ほんわか見てある記 みめぐり その3 三囲神社と三井家

三井八郎右衛門高利は元和8年(1622)に松阪に生まれ、延宝元年(1673年)、江戸日本橋本町に呉服店・三井越後屋をスタートさせました。三井家が江戸での守護神社として崇めたのが三囲神社です。三囲神社は東京都墨田区向島、隅田川の近くに鎮座し、穀物神・宇迦御魂之命が祀られています。社殿を守る一對の石造の狐は、三井越後屋の木綿店・向店が享和2年(1802)に奉納したものです。稲荷神社の狐像は険しい表情をしている印象がありますが、この狐像の穏やかな顔は、見る人をほっこりした気持ちにさせてくれます。「三囲のコンコンさん」と親しまれ、温かな表情のことを近辺の職人言葉で「みめぐりのコンコンさんみてえだ」と言い表されてきたというのも、うなずけます。

三囲神社の創建年代は不詳ですが、文和年間(1352~56)に、近江三井寺の僧源慶がこの社を改築した折、土中から白狐にまたがる老翁像を発見し、どこからともなく現れた白狐がこの像の周りを三度回って消えたという縁起から「三囲」と名付けられたとされています。「三囲」の文字には、三井の「三」と「囲」の中に「井」の文字がありますが、「三囲は三井を守る」と考え、篤く信仰したともいわれています。

三井家が「三」に込めた特別な想いは、境内にある3本脚の三柱鳥居からも感じ取ることができます。また、三囲神社境内には

三井家の祖霊社・顕名霊社の社殿が鎮座していますが、この鳥居は平成6年(1994)、この社殿が東京の三井邸から現在地に遷座された際に、社殿とともに移されたものです。三井家が崇敬する京都木嶋神社の三柱鳥居に倣って建立され、全国でも数基しか確認されていない珍しい鳥居です。

なお、かつて松阪三井家の屋敷神として祀られていた三囲神社が、松阪市本町の御厨神社境内にも移築されて祀られています。

今年は、三井越後屋が開店してから350年の節目の年です。この機会に、三井家の商いへの熱意を三囲神社で感じてみてはいかがでしょうか。(中戸)



【三囲のコンコンさん】



【三柱鳥居】

歴史文化3施設のご案内

【開館時間】 9:00~17:00

(16:30までにご入館ください)

【休館】 水曜日(祝日の場合は翌平日)
/年末・年始

【連絡先】

◆旧長谷川治郎兵衛家

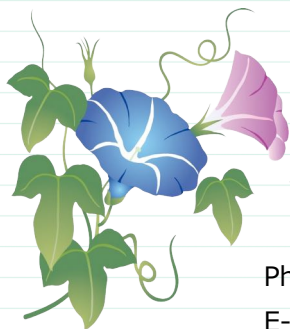
Phone: 0598-21-8600

◆旧小津清左衛門家

Phone: 0598-21-4331

◆原田二郎旧宅

Phone: 0598-23-1656



発行 NPO法人松阪歴史文化舎
〒515-0082 松阪市魚町1653

Phone: 0598-21-8600 (事務所)

E-mail info@rekishibunkasha.onmicrosoft.com

HP https://matsusaka-rekibun.com/

